



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2024～2025年度 RI会長 ステファニーA.アーチック
RIテーマ ロータリーのマジック

クラブテーマ「ロータリーの理解を深め、地域社会にロータリーのマジックを広めよう」

会長 仲原実圭 幹事 原 兄多

第1599回例会 2025. 3. 28(金)晴

司会：高村勝則君

ロータリーソング「それでこそロータリー」指揮：杉山寿美子君

事務所 三島市泉町9-8 1F南
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 仲原実圭君

3月最後の‘水と衛生’月間のご紹介はアンデス山脈の高地にある先住民コミュニティのご紹介です。10年以上の間、安全な飲み水を待ち望んでいました。人びとは地元の水道局と協力して計画を立てたものの、実行に移すための資金がありませんでした。そんな折、初めてグローバル補助金を申請することに関心を寄せている新しいロータリークラブと出会いました。

水と衛生月間

小さなクラブが 実現させた 大規模な水プロジェクト

グアランダ・ロータリークラブ (エクアドル)



小さなクラブが実現させた大規模な水プロジェクト

コチャパンバ村は、キトから南へ約250キロ、エクアドルの最高峰チンボラソの麓にあります。住民は入浴や洗濯のために1時間かけて移動しなければなりません。週に一度、農作物用の灌漑水域からわずかな水を汲み、それを飲み水として使用していますが、未処理水であるため病気を引き起こす危険があります。村人たちは水委員会を結成し、水道局との協力の下、山の集水域から水を引き、処理するシステムを設計しましたが、資金不足のため計画は実現できませんでした。一方、約8キロ離れた町グアランダに時折やってくる住民の中に、2019年に結成されたばかりのグアランダ・ロータリークラブのメンバーとのつながりがある人がいました。「私たちは長年、この問題に取り組んできました。プロジェクトの準備はできていましたが、支援してくれる人がいませんでした」と、コチャパンバに住むドロテオ・サンテリヤンさんは話します。「しかし、ロータリークラブの人たちは、水を得ることができるよう手助けしてくれました」クラブの奉仕委員長であるアルフォンソ・カマチョさんは、「妻は、村の女性たちが水を背負って運ぶなければならない様子を見て、『私たちに何かできることはないか?』と考え始めました」と話します。

この設立間もないクラブは、ロータリー財団のグローバル補助金を申請したことはありませんでした。しかし、ロータリーのほかの会員から多くのアドバイスを受け、プロジェクトの協同提唱者を見つけ、コチャパンバの人びととともに、133世帯に安全な飲み水を提供するシステムを完成させました。

カマチョさんの妻で、クラブ会計を担当しているヴァージニア・ソトさんは、地元水道局の職員とともに、コチャパンバの水道委員会や地元の人びとと関係を築き、まだ実行されていない水道計画

について話をしました。コチャパンバにはすでに水道委員会があったので、この委員会が連絡窓口となり、財務システムを構築して維持費を賄うための料金を設定することができました。「人助けが好きだから、『私たちならできる』と言ったんです」新しいシステムでは、山の水源から引いた水が処理され、家庭に配水される前に貯水タンクに集められます。クラブは地域社会や水道局のエンジニアと密に協力し、2022年6月にシステムを完成させました。

クラブは50,000米ドルの補助金を、設備、備品、プロジェクト管理費に充てました。水道局は技術面の設計と監督を行い、その他の専門知識、地形図、水道メーターやバルブなどの設備や備品を提供しました。参加した家族は、地域社会での取り決めに従って作業に協力しました。住民たちは交代で、プラスチック製の塩ビ管を通すための溝をたくさん掘り、ロータリーを使って岩や砂などの資材を山の中腹まで運びました。灌漑用貯水池も、同じ水源から水を引いています。水はパイプを通して坂を下り、鉄筋コンクリートのタンクに流れ込み、そこで塩素処理されます。その後、パイプを伝って近くの丘にある二つの配水ステーションに運ばれ、その後各家庭へと分岐します。

「多くのことを尋ね、地域社会と協力しました。また、バスターガバナーのファン・プリンツさんは、つながりを築けるよう手助けしてくれました。何かをしようと決心すれば、必ずできるものです」

第4400地区のバスターガバナーで、2021年に死去したプリンツさんは、グアランダのクラブに多大な援助を行いました。カマチョさんとソトさんにクラブ結成を勧め、自身のクラブであるキト・バジェ・インテロセアンニコ・ロータリークラブがスポンサークラブとなりました。その後、プリンツさんとクラブ会員のオッド・ハンセンさんは、グアランダ・ロータリークラブとドイツのベルバート・ロータリークラブを結びつけました。二人は、新型コロナ流行によりバーチャル形式で開催された2020年プロジェクトフェアで、ドイツのクラブ会員と知り合ったのです。

ドイツの会員であるファン・グレゴリ・イリバスさんは、クラブがエクアドルでのグローバル補助金プロジェクトの提唱者になりたいと考えていたものの、適当なものが見つからなかったことを振り返ります。「プリンツさんを通じて、グアランダのクラブと連絡を取ることができました。プロジェクトのための彼らの準備は万全でした。ロータリアンの協力のおかげで、プロジェクトを成功させることができました」

このプロジェクトは持続可能なものです。コチャパンバのコミュニティは水道局と協力するエンジニアを雇い、3週間ごとにカマチョさんとエンジニアがシステムをチェックするほか、家庭を訪問して健康と衛生について話し合い、水を節約する方法を指導しています。

コチャパンバでは、処理された水が利用できるようになったことで、病気にかかる人が減ったと報告されています。また、川で洗濯することもなくなったため、洗剤による汚染もなくなりました。

この記事からグローバル補助金(GG)の申請に必要な事柄がほぼ記載されています。

※裏面へ続く

クラブ協議会

2月21日のクラブ協議会において、細則・内部規則の改正案を提示し、ご意見をいただいたうえで、3月7日に正式な改正案を配布しました。

細則第14条および内部規則第14条の規定により、改正の決を取りたいと思います。

本日、定足数を満たしており、3分の2以上の賛成があれば、改正案のとおり改正します。

→ 3分の2以上の賛成

2025～26年度理事役員発表

会長	服部光弥	直前会長	仲原実圭
副会長	遠藤修弘	幹事	小島真
会計	高橋大輔	クラブ戦略	米山晴敏
職業奉仕	大村典央	社会奉仕	加藤正幸
国際奉仕	三輪暁生	青少年奉仕	高橋麻子
会場監督	杉山寿美子	公共イメージ	野村諒子
親睦活動	鈴木俊也	会員増強維持	小林勝
プログラム	高村勝則	クラブ細則	原兄多
副幹事	藤川智徳		

出 | 席 | 報 | 告 |

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	23/40	57.50%	26/40	65.00%
今回	28/40	70.00%	会員総数	41名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

新井君、石井君、入江君、大村君、小林君、杉橋君、土屋君、藤川君、矢岸君、吉村君、米山君、渡邊君

(*出席免除会員の欠席者 片野君)



スマイルボックス

高橋麻子君：年度末業務もあと一息なのでがんばります。

宮澤友一君：先日健康診断をしたところ、身長が前年の181.7cmから182.4cmに伸びました。50才までに185cm、還暦までに190cmを超える勢いです。

原兄多君：今日からプロ野球が開幕です。今年はどこが優勝するでしょうか？

おめでとう

会員誕生日 4月2日 山本良一君



《現地現状・調査》

- ・住民は入浴や洗濯のための水を汲む為1時間かけて運搬
- ・週に一度、農作物用の灌漑水域からわずかな水を汲み、それを飲み水として使用
- ・未処理水であるため病気を引き起こす危険がある

《改善計画の概要》

- ・村人たちは水委員会を結成し、水道局との協力の下、山の集水域から水を引き、処理するシステムを設計

《この事業で恩恵を受ける人》

- ・コチャパンバの人びととともに、133世帯に安全な飲み水が供給される

《改善計画に対する問題点》

- ・資金不足

《支援国側クラブ》

- ・グアランダ・ロータリークラブ(エクアドル)

《援助国側クラブ(提唱者クラブ)》

- ・ベルバート・ロータリークラブ(ドイツ)

《実施計画》

- ・水はパイプを通して坂を下り、鉄筋コンクリートのタンクに流れ込み、そこで塩素処理されます。その後、パイプを伝って近くの丘にある二つの配水ステーションに運ばれ、その後各家庭へと分岐します。

- ・灌漑用貯水池も、同じ水源から水を引いています。

《地元の人々の協力》

- ・水道局は技術面の設計と監督を行い、その他の専門知識、地形図、水道メーターやバルブなどの設備や備品を提供しました。
- ・住民たちは交代で、プラスチック製の塩ビ管を通すための溝をたくさん掘り、ローを使って岩や砂などの資材を山の中腹まで運びました。

《資金計画》

- ①ベルバート・ロータリークラブ(ドイツ)及び地区DDF
- ②グアランダ・ロータリークラブ(エクアドル)及び第4400地区DDF
- ③ロータリー財団(TRF) (①+②)×80% \$ 50,000

《持続可能性》

- ・コチャパンバのコミュニティは水道局と協力するエンジニアを雇い、3週間ごとにカマチョさんとエンジニアがシステムをチェックするほか、家庭を訪問して健康と衛生について話し合い、水を節約する方法を指導しています。

《改善されたこと》

- ・コチャパンバでは、処理された水が利用できるようになったことで、病気にかかる人が減ったと報告されています。また、川で洗濯をすることもなくなったため、洗剤による汚染もなくなりました。実際の申請はこのよう計画の詳細を記していくことで作成できます。



これは2023-24年度のGGでの実施数ですが1番多いのは'疾病予防と治療'ですが、第2位は'水と衛生'事業です。世界では、きれいな飲み水と衛生的なトイレ及び浄化システムを必要としています。